

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	◎			個々人の年齢や実態に沿うようにスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	◎			前日・当日に再度、配置の確認をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			1Fにある事業所でフラットなスペースになっています。トイレも車椅子での利用が可能なスペースを確保しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			必要に応じてミーティング等を行い実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	◎			保護者から寄せられた意向について検討し、必要な改善策を実施するようにしていますが、対応しきれないところもあり、引き続き努力します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	◎			H31.1月中旬にUP予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員の評価を受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	◎			外部研修への参加や事業所内での事例検討会などを実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			定期的に保護者との面談を行い、個別支援計画の作成に反映させています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	◎			アセスメントツールをもとにそれぞれの特性に合わせた支援内容を検討しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			明確にチームという形をとっていないが、スタッフ間での話し合いを行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個々の特性・意向に応じた支援を提供しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	◎			スタッフ間での話し合いで検討を実施し、平日、休日、長期休暇に合わせた支援につなげています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			個々の特性に合わせて個別の活動、集団での活動を振り分け、支援計画を作っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	◎			こどもの直近の様子や当日予想される場面等を事前に検討し、当日の支援のあり方についてスタッフ間で打ち合わせしています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	◎		必ず当日に振り返り、打ち合わせを行い、こどもの様子や継続すべき支援方法、改善すべき点などを検討し、用紙に記入して共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	◎		活動内容やこどもの当日の様子を日々、記録するようにしており、記録にもとづいて支援のあり方を検討、改善するようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	◎		支援の内容、日々の様子、課題等を職員間で検討してモニタリングを定期的実施し、計画内容に反映させるようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○	各種組み合わせ合わせて実施しているが、不十分な面があるところもあり、今後さらに改善に努めます
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	◎		こどもの特性・様子などに詳しいスタッフが参画するようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	必要な情報共有、連絡調整を行うようにしているが、学校によってその緊密度に差異があるので、今後さらに改善に努めて行きます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	◎		素早い連絡が取れるように、事前に体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	◎		関係者各位と連絡をとりあい、情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	◎		関係機関・事業所と連絡をとりあって情報共有を行うようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	必要に応じ実施していますが、関係者によって差異が見られる面もあるので、今後、一層充実した連携を図れるように努めて行きます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	◎		こども食堂の開催やプレーパークへの参加を行い、障害のない子どもと活動する機会を確保しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	参加できない時もありますが、できるだけ参加するようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	◎		送迎時などに当日の様子を伝えたり、また必要に応じて面談等を行うようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		相談役を設け、希望者には1対1で支援するようにしています。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	◎		契約の時に重要事項説明書を渡すと同時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	◎		保護者等の悩み相談の電話等を受け、ともに考えるようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者が参加できるこども食堂やイベントを開催しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	◎		苦情へ対応する担当をおき、迅速かつ適切に対応出来るようにしています。

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	◎		月刊の冊子を作成して毎月配布しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	◎		職員に個人情報保護について説明し、誓約をもらうと共に、セキュリティシステムを導入して情報流出対策を実施しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	◎		ミーティングや打ち合わせ等で意思疎通、情報伝達についての課題を検討し、必要な配慮を行うようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		ガレージセールなどのイベントを実施しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	保護者への周知に不十分な面があるので、今後、改善に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	◎		適宜、避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	できるかぎり、多くのスタッフに参加してもらうようにしているが、全スタッフの参加が難しい面があります。参加者には情報を共有してもらうようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	やむを得ない身体拘束についての個別支援計画への記載が不十分であり、課題としてとりにていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	◎		医師からの指示を基にした適切な対応が出来るようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	◎		必ず報告書を作成して回覧し、また新しいスタッフも参照できるようにファイリングしています。